

金屋の正月のお日待祈禱 (42.3.10)

る気持が満ちていたようである。

## 二、年とりと正月の行事

一年の仕事が無事終わろうとする頃、四季の明確な会津地方で、特に盆地の中央にある北会津村では、田圃に立って、四周の山の頂上より色

待ちなそうである。三月十五日が春の若宮八幡のお日待で、くさもちびちであったというが、旧暦が新暦にかわってから日があわなくなり、新で一

カ月後れて行なったりしているそうである。暦の変化による混乱が、このような祈願祭を失わせる一因であるのを知った。

百万遍・大般若・春神楽なども行なっている村があり、春の来たことを告げるようである。

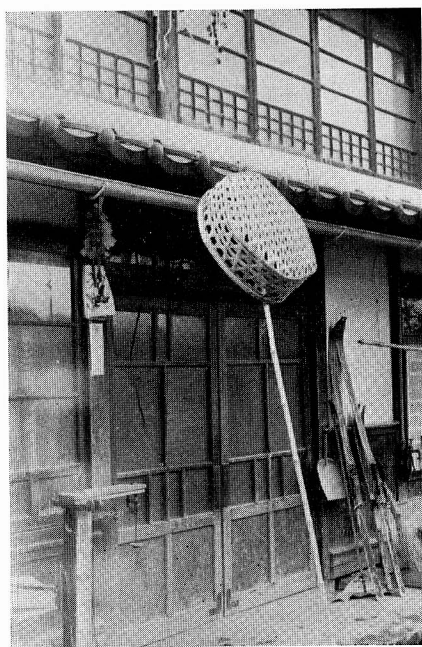
このように節日の意味を含んでいるものを拾ってみると、年中行事自身が、節日の行事の意味を含み、その殆ど総べてに、神仏に感謝をこめ、豊

年予祝健

康祝福村

人の幸多

かれと祈



2月8日の神様お通りのもみどうしたて  
(鈴木真言撮影)